

迂回ルートについて

東北道 岩槻IC～久喜IC間(15.0km)の通行止め時の迂回路は下表のとおりとなります。

案内車種区分	利用道路	迂回距離	所要時間 (通常時)	出入IC
上り線 小型車・大型車 下り線 小型車	国道16号、県道3号	約18km	約30分	岩槻IC 久喜IC
下り線 大型車	国道16号、国道4号、 国道125号	約35km	約55分	岩槻IC 加須IC

下り線の大型車については、国道16号と県道3号の原市交差点で構造上右折ができないため、
国道16号から国道4号と国道125号を経由して加須ICまでの迂回をお願いします。

小型車：軽自動車、普通車、中型車

大型車：大型車、特大車

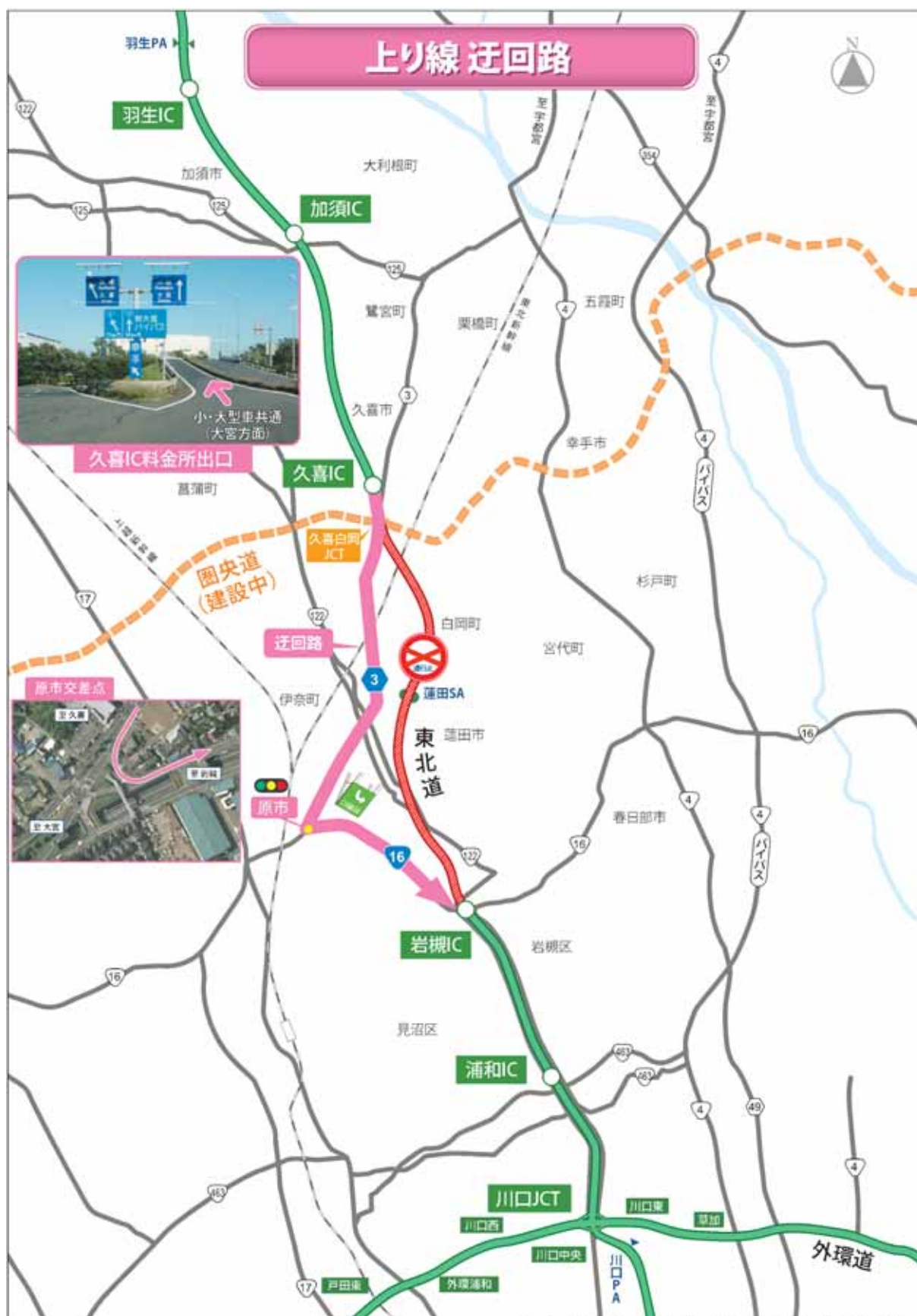
東北道 岩槻IC～久喜IC間(15.0km)の所要時間は約10分(通常時)ですが、県道3号を使用した場合は20分程度、国道4号を使用した場合は東北道 岩槻IC～加須IC間の所要時間約15分(通常時)に対して40分程度、所要時間が増えます。

また、通行止め開始時(21時～23時頃)と翌朝の通行止め解除時(4時～5時頃)には、一時的に迂回路の混雑も予想されますので、時間にゆとりをもってお出かけください。

当日迂回路となる道路及び交差点には誘導案内看板を設置しますので、その案内に従って迂回をお願いします。



図 - 1 迂回路案内図



※迂回路案内図に使用している航空写真の出典はデジタル・アース・テクノロジー株式会社です。

(輕自動車、普通車、中型車)

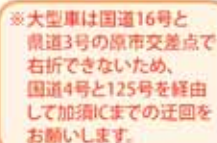
團央道
(建設中)

小型車 大宮方面

岩槻IC料金所出口

※正田橋案内図に使用している航空写真の出典はデジタル・アース・テクノロジー株式会社です。

(大型車、特大車)



大型車は
右折できません

岩槻IC料金所出口

川達正雄氏が使用している航空写真の出典はデジタル・アース・テクノロジー株式会社です。

通行止めに伴う乗り継ぎ料金調整について

通行止めにより高速道路を一旦流出し、一般道を迂回して再度同一方向に乗り継がれるお客さまにつきましてはご利用料金の調整をいたします。ご利用にあたっては一旦流出するインターチェンジでお渡しする「高速道路通行止め乗継証明書」を乗り継ぎ後の最初の出口料金所で、乗り直した料金所にて発行した「入口通行券」と一緒に係員に提出していただくと、所定の調整方法により算出した調整料金となります。（全線走行した場合の直通料金から長距離通減割引を勘案して未走行区間の料金を減じた料金をいただきます。）

また、ＥＴＣをご利用のお客さまは、全行程で同一のＥＴＣカードをご利用のうえ、通常どおり料金所のＥＴＣレーンを通行してください。この場合でも同一の調整を行った料金及び本来のご走行で適用されるべきＥＴＣ時間帯割引が適用された調整後の料金で請求させていただきます。（ご利用時は通常料金の表示となりますが、請求時にはご利用区間に応じた調整後の料金で請求させていただきます。）

乗り継ぎ可能な料金所

浦和^{IC}、岩槻^{IC}、久喜^{IC}、加須^{IC}、羽生^{IC}



乗継調整に関する注意事項

- ・流出後24時間以内に上記乗り継ぎ可能な料金所から再流入してください。
- ・通行止め解除後は、流出^{IC}から流入されても乗継調整を行います。
- ・迂回のため下り線の浦和インターチェンジで流出するお客さまは、乗継証明書は発行されませんので、流出される時に係員にその旨をお申し出ください。その場で料金を調整します。

工事概要

圏央道は、都心から半径40～60kmに位置し、横浜・厚木・八王子・川越・つくば・成田・木更津などの主要都市を環状に結ぶ総延長約300kmの高規格幹線道路です。

今回、橋梁の架設を行うのは、建設中の圏央道が東北道の岩槻IC～久喜IC間で接続する久喜白岡JCT(仮称)の工事現場ですが、東北道をご利用されるお客さまの安全の確保及びお客さまへの影響を極力少なくするため、交通量の少ない平日の夜間に通行止めを実施し、東北道の上空を横断する連絡路橋(ハランプ橋)を1夜間で架設します。

なお、来年の秋頃にも、圏央道の本線橋梁などの架設のため、今回と同様な東北道の夜間通行止めを予定しています。



久喜白岡 J C T (仮称) 完成予想図

〔工事の内容〕

通常の橋梁架設工事は、大型クレーンにより橋桁を吊上げて架設する工法を用いますが、今回の工事では図 - 1 のような「大型多軸移動台車」を使用して架設を行います。架設工事は東北道の本線脇のヤードに仮組立した橋桁（長さ：約 50 m、幅：約 5 m、重量：約 260 t）を、大型多軸移動台車（全長：約 16 m、幅約 2.5 m、重量：約 50 t / 台）4 台に載せて、東北道の所定の位置まで低速（約 1 m / 分）で運搬して、架設する工事です（図 - 2 参照）。

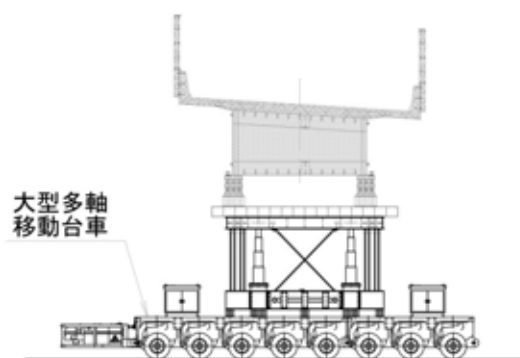


圖 - 1 大型多軸移動台車（橋桁搭載時）

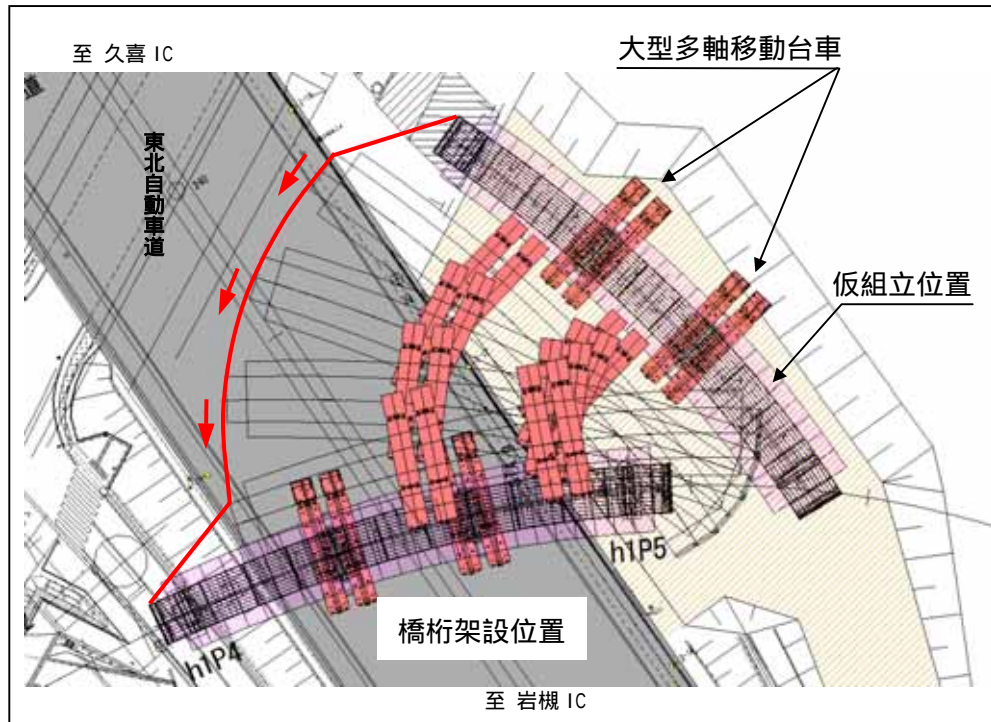


図 - 2 架設イメージ図



他工事における架設事例（イメージ）